

今回はお掃除について、日常清掃 (Daily Cleaning) と定期清掃 (Regular Cleaning) についてご紹介致します。

日常清掃 (Daily Cleaning) と定期清掃 (Regular Cleaning) は、同じお掃除でも、建物や施設の厨房・客席の清掃管理において、目的や内容が異なります。

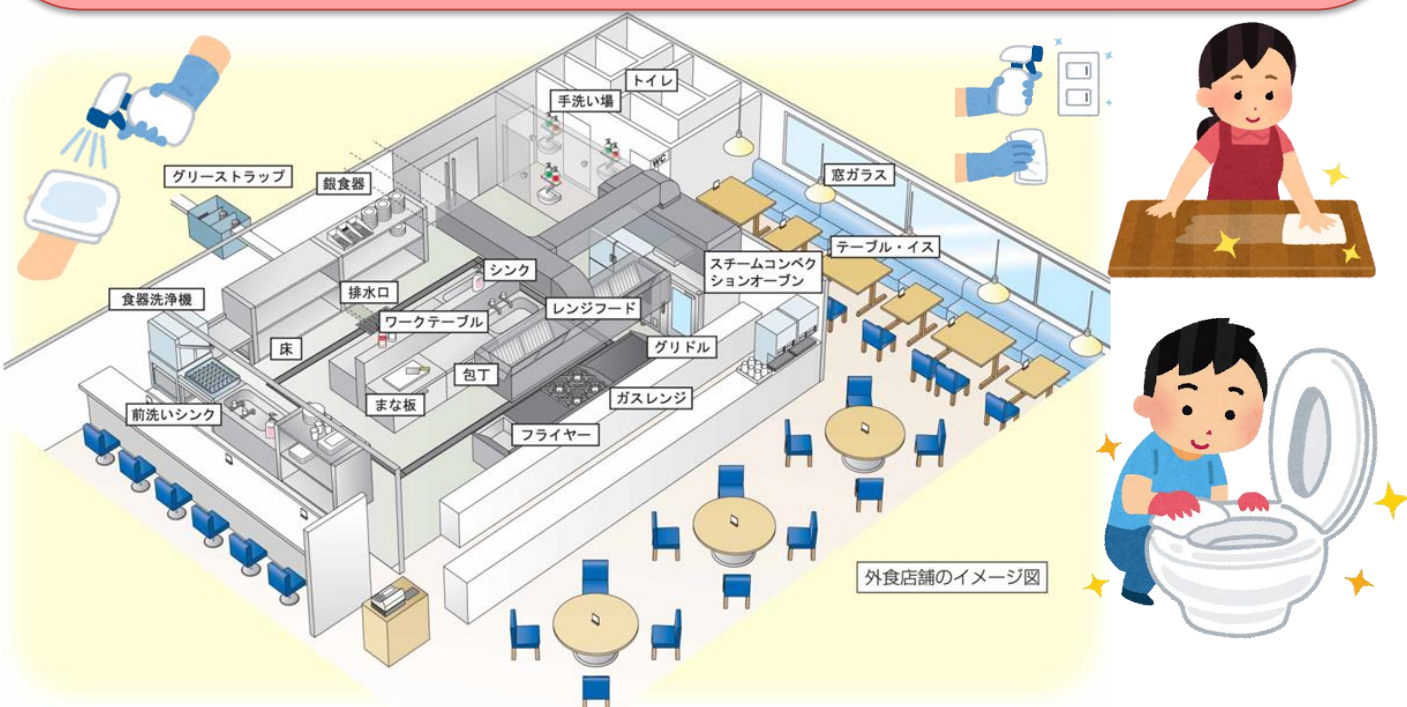


日常清掃の特徴

目的: 日常清掃は、日々の使用中に生じる汚れやごみを取り除き、建物や施設を清潔に保つことを目的としています。ポイントは清潔で快適な環境の維持・提供です。

頻度: 毎日または定期的に行われ、厨房や客席で日々発生する汚れやゴミを取り除きます。掃除機をかける、ゴミを捨てる、表面を拭くなどの日々のタスクが含まれます。

範囲: 床、テーブル、カウンター、トイレなどの一般的なエリアや厨房機器などの特定の場所も対象とし、主に見た目や衛生面に焦点を当てます。





定期清掃の特徴

目的: 定期清掃は、周期的な間隔でより頑固な汚れを除去する清掃作業です。このプロセスでは、日常清掃では取り除けない汚れや、特定のエリアや厨房機器などのメンテナンスも含まれます。

定期清掃の主な目的は、施設や建物の寿命を延ばし、環境・設備の美観を維持し、特定の問題を予防することです。

頻度: 月次、四半期、半年ごと、または年次など、一定の周期で行われます。頻度は清掃計画や施設・設備の使用状況に基づいて決定されます。この間隔で、特定のタスクやメンテナンスが実施され、施設全体を清掃します。

範囲: 対処しきれないエリアや作業が対象です。これには、床のワックス塗布、カーペットクリーニング、エアコンや通気口の点検・清掃、天井・壁の洗浄・カビ除去、グリストラップやフード・ダクト清掃なども含まれます。

手の届かない場所や機器の清掃を放置しないことが重要



主な定期清掃の事例

エアコン分解洗浄

- ・従業員では清掃できない箇所をプロが清掃
- ・汚れ（ホコリと塵）の蓄積や目詰まりを除去することによりエアコンへの負担軽減（電気代の削減）



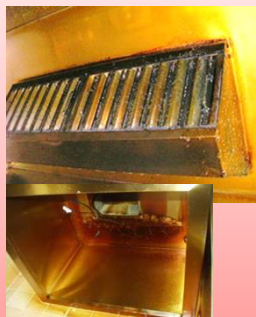
グリストラップ清掃

- ・排水管のつまりや漏水
- ・におい（悪臭）や害虫の発生
- ・労働環境の悪化
- ※油脂分と汚泥を一般ごみに混ぜて捨てると不法投棄の扱い



フード・ダクト清掃

- 油脂等が付着・堆積した場合、これらが火災の要因となります。そのため、定期的なレンジフード・換気扇・排気ダクトの清掃・メンテナンスが重要です。



天井や壁の清掃

- ・従業員ではできない高所作業の清掃
- ・天井・壁のカビ除去
- ・日常清掃の軽減
- ・異物混入リスクの回避



日常清掃は日々の清潔保持に焦点を当てた清掃で、定期清掃は施設全体の維持と特定の問題の予防に焦点を当てた清掃プロセスです。両方の清掃計画を立て、適切なタイミングで実施することが重要です。